



まちづくりびと ニュース 第5号

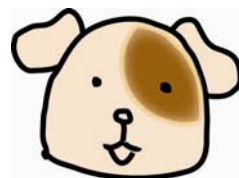
平成19年11月発行

<目次>

- ワークショップ特集……………P1 ●講座その後・円頓寺商店街……P5
- まちづくりびと養成講座……………P4 ●都市センターからのお知らせ…P7

地域の“まちづくりびと”養成講座 いよいよスタート！ワークショップ特集

おなじみ「地域の“まちづくりびと”養成講座」が始まりました。今回は35人の申し込みがあり、さまざまな世代の方々が、まちづくりのはじめの一步を学んでいきます。



ことしの講座は「まちづくりに興味があるひとが関わりやすい入門編」として、さまざまな初めのノウハウを学び、体験していきます。

今回は、講座に登場したワークショップを特集します。まちづくりびとの皆さんも、使ってみたいワークショップがあれば、ぜひまちづくりの現場で取り入れてみてください。



☆☆☆ワークショップ1st Step～おたがいを知ろう☆☆☆

ゲームで楽しみながらおたがいを知り、仲良くなるワークショップです。

●他己紹介ゲーム

自己紹介ならぬ「他己紹介カード」を作成、活用（手作りで結構です）。ペアを組み、相手に10分インタビューして、カードに書き入れ、紹介していきます。
「他己紹介カード」にはポラロイドの顔写真を貼り、つねに見える位置に置きます。

名前・ニックネーム
住んでいるところ
関わっているまちづくり活動
目標・意気込み

項目例

●月に迷ったゲーム

NASA が開発した学習プログラムです。ゲームを通して、グループワークの大切さを実感することができます。

①宇宙船にのっていたら遭難、月で不時着、という設定。

下の15点の品目で、母船に戻るために必要な順位をつけます。

②まずは個人ワークで、相談しないで順位をつけます。(制限時間10分)

③つぎにグループで、話し合って順位をつけます。(制限時間20分)

④解答をみて、採点をします。

⑤グループでワークの経過など話し合いをします。(制限時間10分)

マッチ箱 濃縮された食べ物 50mのナイロンロープ
パラシュート 太陽熱利用の携帯用暖房機
45口径のピストル 粉ミルク1ケース 100ポンドの
酸素タンク 月面上用の星座図 自動膨張の救命用ボート
方位磁石 水19リットル 照明弾 注射器の入った救急箱
太陽電池のFM受信送信機

※解答、採点方法は
7ページに！

☆☆☆ワークショップ2nd Step～ワークショップを楽しもう☆☆☆

短歌づくりを通してまちの良さ、魅力を発見することができます。

●短歌ワークショップ(まちの縁側育くみ隊スタイル)

①グループ(6～8人程度)に分かれ、まち(例；〇〇通り、〇〇公園)をテーマに、上の句(五七五)担当、下の句(七七)担当に分かれ、それぞれ短歌をつくります。

②おたがいに上の句、下の句を発表しながら、合う歌同士をつなげます。

③完成した短歌を発表(20句程度)、人気投票(自分以外のグループのみ投票ができることを条件)を行います。

では発表！(名古屋市をテーマにした短歌；10/20の講座で作成)

人気ランキング

★1位★

目をみはる 名古屋嬢のスパイラル
街のシンボル です。名古屋じょう

★2位★

新町名 歴史の町名(まちな)消えてゆく
忘れないよう 心にきざもう

★3位★

みそ煮込み 味の濃い人 そろってます
道路ひろくて 心もひろい！

☆☆☆ワークショップ3rd Step～空間をデザインしてみよう☆☆☆

模型を用い、デザインゲーム手法をつかって空間をデザインします。

●デザインゲーム(12/1の講座では「公園」をデザイン)

- ①公園づくりのキーワードを20用意(下参照)。メンバー各自が3つを投票。数の多いキーワード3つ程度を抽出する。
- ②キーワードを実現するためのアイデアを、各自がポストイットに記入、整理。
- ③公園の図面(白図)の上に簡単な模型を配置し、プランを取りまとめる。
- ④時間があれば、公園のコンセプトを表すニックネームをつける。

＜キーワード例＞・ごろごろできる・裸足で歩ける・ひなたぼっこできる・仲間ができる・井戸端会議ができる・ステージがある・地域のシンボルがある・地域の歴史を伝える・いざという時に役立つ・健康になる・水に親しめる・緑あふれる・鳥や昆虫があつまる・みんなが参加する・みんなで育てる・冒険できる・走りまわれる・家族ででかける・ひとりでも遊べる・遊具がたくさんある



まちづくり語録～石田芳弘さん編

地域の“まちづくりびと”養成講座の特別講演として、11/3(土・祝)に前犬山市長の石田芳弘さんに「まちづくり」をテーマに講演をしていただきました。

講演後、養成講座のプログラムとして、現在の受講生のみなさんを囲んでのイドバタカイギを行い、熱いトークが繰り広げられました。

石田芳弘さんが考える、まちづくりとは何でしょうか。

講演やイドバタカイギで出た、石田さんのまちづくりに関する語録を紹介します！

「いい町とは、磁力のある町」

「まちは生命体、生き物。

よくなる時も悪くなる時もある。

悪くなる時に何をするかが、大事」

「一番大事なものは、夢、ビジョン」

「みなさんそれぞれがリーダー」

「じぶんたちで維持している所はパワーがある」

「まつりがしっかりしている所は、まちづくりもしっかりしている」



まちづくりびと養成講座

みなさんの近況

ながなわ 久子さん（1期生・2期生）

タウンウォッチングをしていると、「ここの色がもっと〇〇〇〇だったら、この街は随分よくなるのに・・・」と思うことがよくあります。建物などは単体として美しいのではなく、まち全体として美しくなければなりません。色の使い方一つで街は随分変わります。景観に配慮されたまち並みは、そこに住む人々の生活に潤いを与え、訪れる人々の心を豊かにしてくれます。まちづくりの現場で色彩の知識を活かし、社会貢献したいと考えたのが、まちづくりびと養成講座を受講したきっかけです。

講座は「たのしみ」と「ワクワク」の連続で、いつの間にか私のライフワークとなっていました。まちづくりの魅力は、「仲間」と「学び」が同時に得られること。1期、2期と受講し、素晴らしい仲間に出会えたことが「+まちづくり」の結成につながり、更なる学びへと発展していきました。「まちは生涯学習の最高の教室である」と前犬山市長さんがおっしゃるとおり、「まち」から学ぶものは無限にあります。私が今まで勉強してきたことや仕事を通して知り得たことも、まちづくりと関わることで、バラバラに感じられたものが一つにつながっていったのです。現在、「+まちづくり」の他にも、自ら主宰する「brilliant 景観色彩研究会」、日本色彩学会「くらしの色彩研究会」と、色彩を切口にまちづくりに携わる研究活動を行っています。色に関することなら何でもご相談ください。



林 加代子さん（2期生）

2期生です。

岡崎の住民なのですが、その岡崎にシビック・センターという合同庁舎があります。

そこにある大きなプランター（全部で16個）に住民の皆さんと一緒に花を植えました。どんな苗にするか、その配置は？などワークショップをして参加者（40名）で考えました。1ヶ月経ち、パンジーやシクラメンがかわいらしく咲いています。

次回は、春。夏の花を植えよう！ということになっています。みんなでおしゃべりしながら汗をかいて、楽しんでいます。



まちづくりびと養成講座・その後「円頓寺商店街」

昨年の地域の“まちづくりびと養成講座”で、テーマとなった円頓寺商店街。あれから一年、テレビで取り上げられたり、円頓寺商店街はさまざまなカタチで新しい動きが目立っています。

まちづくりびとでも、仕事やまちづくり、プライベートなどで縁がある人が多い円頓寺商店街。講座から“その後”を紹介します。

円頓寺商店街のみなさんに聞いてみました。(11/4にインタビュー)

毎月第一日曜日に円頓寺商店街で「ごえん市」をはじめて3年目になりますが、ことしは全然違いますね。

はじめはこちらから出店者を募ってましたが、さいきんは若い人たちの方から「やりたい」といってお店をだしたり、遊びに来てくれるようになりました。

やはり1、2年ずっとやってきたという事実が大きいのではないのでしょうか。

クチコミや、意外なところでブログなどHPの紹介で来たお客さんも増えてます。

毎月思わぬところでいろいろな話が入ってきて、うれしい出会いも多いですよ。

たとえばバンドのステージを行っていたら、ハワイの人が自転車で通って、興味しんしんで見てたんですよ。たずねたら彼はウクレレマン！ぜひ次の機会に出演しましょうと話が盛り上がったり…。

じぶんたちも予想がつかないくらい、人の輪が広がっていると思います。

(ごえん市を主催している「げんき会」代表 中川さん)

ことしにはいってから、商店街の30～40代の若い衆を中心に月一回、夜に集まり、楽しく座談会的に商店街を考えていくようになりました。メンバーはいろいろ、商店街のメンバーのほかにもコンサルタントや建築家、クリエイターや「+まちづくり」の方も遊びに来てます。

きっかけは「楽しく飲もう、集まろう」でしたが、やはり「この町なんかならんかな」という気持ちがあったんだと思います。

こうやって集まっていると、前向きに話ができるのがいいですね。

「那古野下町衆(略して那古衆)」を結成し、今後いろんな活動をするために、資金調達をしようとごえん市に出店したり、メンバーのバッジを作ったり。円頓寺商店街は大きく3つの組織に分かれてますが、「那古衆」は垣根がない。四間道(地区)や浅間町もまじえて、みんなで盛り上がろうとがんばってます。

(那古野下町衆 議長「太陽堂本店」岩田さん)



去年の講座より



去年の講座より



まちづくりびとサロン

ここは、まちづくりびとの皆さんが自由につかえる掲示板です。

小川さん(1期生)；

「 ～ひとりからはじめるエコの環づくり～を行います。
1/19(土)～2/9(土)まで全4回 受講料 2,000 円です。
アートセラピーなどの楽しいワークで心を軽くして、環境活動や食生活
に積極的に関わっていきましょう。
お申し込みは メール ecoego2007@yahoo.co.jp
みなさんの参加をお待ちしています。」

佐藤雅さん(2期生)；

「 次回の修了生有志のつどいは、寒くなってきたので、
寒いうちにやります。乞うご期待！」

ながなわさん(1期生・2期生)；

「 歴史ある名古屋友禅を、気軽に体験できる場所を発見しました。
北区の渡辺染工場という所ですが、好きな型紙を選び、
80 種類の染料から色を選び、刷毛で塗っていきます。
その後、糊付けをして、地色の色(膨大な色数の見本があります)を
選ぶ工程で二時間ほど。
完成した作品は10日ほどに、郵送もしてくれます。

最初に説明がありますので、誰でも簡単にオリジナルのカラー
デザインを楽しむことができます。
四季の色彩を取り入れる日本の伝統美、そして名古屋の伝統
文化に触れるいい機会として、体験してみたいかがでしょう。」

●●●投稿募集！！●●●「まちづくりびとサロン」宛てで、「お名前」「第〇期生」
をご記入のうえ、メールやFAX（最終ページに記載）に送ってください。
修了生のメーリングリストで送っていただいても結構です。

都市センターからのお知らせ

ホームページがさらに親しみやすくパワーアップ！



まちづくり関連の情報など、より充実した内容になっています。

みなさん、どうぞご活用ください。＜ ホームページ URL <http://www.nui.or.jp/> ＞

●2ページ「月に迷ったゲーム」の答え・採点方法

＜NASAの正解順位＞

- ・マッチ箱－15（位）　・濃縮された食べ物－4　・50mのナイロンロープ－6
- ・パラシュート－8　・太陽熱利用の携帯用暖房機－13　・45口径のピストル－11
- ・粉ミルク1ケース－6　・100ポンドの酸素タンク－1　・月面上用の星座図－3
- ・自動膨張の救命用ボート－9　・方位磁石－14　・水19リットル－2
- ・照明弾－10　・注射器の入った救急箱－7　・太陽電池のFM受信送信機－5

①NASAのランク（正解順位）－あなたのランク付け＝あなたの失点 になります。

例／マッチ箱を8位とつけた場合……………15（NASA）－8＝7（失点）

②15品目の、あなたの失点を合計します。

③次に、グループでつけたランク付けの採点をします。

上と同じように採点します。

NASAのランク（正解順位）－グループのランク付け＝グループの失点

④15品目の、グループの失点を合計します。

⑤グループメンバーの失点の平均値を合計してください。

⑥グループでもっとも優秀な成績の人（失点がもっとも低かったひと）の失点は？

⑦グループでもっとも優秀でなかった人（失点がもっとも高かったひと）の失点は？

さて、いかがでしたでしょうか。ちなみに「+まちづくり」は、●グループの失点52

●グループメンバーの失点の平均値45。7●もっとも優秀な人の失点42●もっとも優秀でなかった人の失点51 でした。

グループの失点＜グループメンバーの失点の平均値 が理想形ですが、難しいですね。

ごあいさつ

11月の人事異動で、名古屋都市センターまちづくり支援班のメンバーが一部交代しました。

■■■はじめまして■■■

生田啓一です。

田嶋さんの後任として、11月1日付で着任しました。

社会人12年生ですが、これまでの担当業務のほとんどが総務・管理畑で、全くといってもよい程の新たな分野へのチャレンジとなります。不安がないといえば嘘になりますが、それ以上に皆さんとの出会いを楽しみにしています。前向きに頑張りますので、よろしくお願いします。

■■■お世話になりました■■■

田嶋仁美です。

11月1日から名古屋市健康福祉局病院管理課に異動となりました。

次回の人形劇はこうしよう！とアイデアが膨らんでいたのに、突然かつ予想外の人事で非常に残念……。でも、今後も、都市センターで得た皆様との“縁”を大事にしていきたいと思っています。

病気の際は、市内に5つある市民病院（東市民病院、城西病院、城北病院、守山市民病院、緑市民病院）を是非ご利用くださいね～

編集後記

経済のグローバル化がすすみ、仕事やプライベートで自由に海外を行き来する時代、反面、格差や貧困も、気がつけばそこに在るような世の中になりつつあると感じます。地域のまちづくりびと養成講座を受講して以来、2年が過ぎました。

まちづくりという言葉に漠然とした興味をもったのがキッカケでしたが、まちづくりに触れていくうちに、さまざまな世代の方々の魅力、パワーを感じ、地域力というものがますます好きになりました。名古屋の最大の魅力は、可能性がある所だと思います。都市センターのバイトは今年12月いっぱいまで終了、編集後記を書くのも最後です。紙面制作にご協力いただいた皆様、お付きあいいただいた皆様、この場をおかりして。本当にありがとうございました。（枇杷）

■ニュースに載せてもよい記事などがありましたら、ドシドシお寄せください！

名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援班

<メンバー>宮島、生田、青山、後藤、枇杷

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目一番一号金山南ビル13階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail shien@nui.or.jp